

STEP UP

発行責任者 中津川 大地

編集 教宣部

Series19 春闘～日本の情勢①～

前回、技術革新は世界的なトレンドであるを紹介しました。そのような流れの中で、日本はどのようになっているかという、**「Society5.0」**という政策に取り組んでいます。



内閣府による政策

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、**人間中心の社会**を目指します。

IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これらの課題や困難を克服します。→**社会の変革を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合える社会、一人ひとりが快適で活躍できる社会となります。**

※内閣府のHPで紹介されていますので、詳しくはそちらをご参照ください。

「社会の変革」「ヒトが中心の社会」
 「一人ひとりが活躍できる社会」



どこかで聞き覚えが・・・

「Society5.0」の紹介動画では、宅配はドローン、農業は無人ロボットによるスマート農業、医療は遠隔診療、さらに鉄道やバスが廃線となった過疎地に無人走行バスを走らせるというように紹介されています。これらのことを実現するためには、さらなる技術の向上や法律の問題など、まだまだクリアしなければならない課題があるのも現実ですが、現在ヒトの手で行われている仕事を技術革新や機械によって置き換えられる社会を**政府の「政策」として**本気で実現しようとしています。

NEXT 日本の情勢②